



人口・開発分野ODA実施における 説明責任の向上に向けた 国会議員能力構築プロジェクト





はじめに

現在、地球規模的な問題に対処するために、人口問題への取り組みの強化が求められています。公約されたODA（政府開発援助）への拠出が十分でないために、人口分野への対応は立ち遅れています。具体的には、ミレニアム開発目標（MDGs）の、「妊産婦死亡を1990年と比較して2015年までに3/4減少させる」という目標5の進捗は遅々としており、出生10万人あたりの妊産婦死亡数（MMR）は、途上国平均で1990年に480人でしたが、2005年で450人にまでしか改善されておらず、2015年までに120人にまで減らすという目標を達成することは非常に難しくなっています。同様に、目標4の乳幼児死亡率も、途上国平均で2015年に出生1000人あたり34人に引き下げるという目標に対し、1990年に出生1000人あたり103人でしたが、2007年で74人にまでしか改善されていません。

このような課題に対応するために、先進国のODAは重要な意義を持っています。しかし先進国では、少子高齢化、年金問題などが深刻な課題となっており、ODAの増額に対する国民の理解を得ることは容易ではありません。NGOを中心に、国際公約を履行するよう呼びかけが行われており、特に予算や立法を担う国会議員に対して、ODA増額の要請が強く行われています。しかし、国会議員の支持母体である国民の間に、ODAの重要性について十分な理解が得られているとはいえ、その実現を阻んでいます。



グローバル化が進んだ今日、途上国の問題は直ちに先進国にも波及します。また、この限られた地球という生態系で、永続的に人間らしい生活を維持するためには、先進国・途上国ともに応分の努力をしていく必要があります。国際社会の課題の解決のための重要な手段の一つであるODAを推進するには、国民の理解と支持を得ていくことが不可欠です。そのためにもODAの透明性や効率性を高めていくことが非常に重要です。このことから、以下の点が重要になります。

- 人口問題の持つ意義が国民に理解されること
- ODAの重要性が国民に理解されること
- 援助がどのように実施されているか国民に示されること
- 成果例・失敗例ともに援助の実態が国民に知らされること
- 途上国の国民のニーズが先進国に伝わること
- そのニーズに合わせてプログラムが構築されること

国会議員が人口問題に関わることの意義

人口問題は一人ひとりの生き方や価値観に深く関わり、決して強制することはできません。人口問題の解決のためには、社会開発、経済開発を実現させるとともに、一人ひとりの国民の理解が何よりも重要になります。同時に人口の安定化をもたらすためには、それを可能にする条件の整備が必要であり、そのための立法や予算措置が行われることが必要となります。国民の代表であり、草の根の有権者のニーズを理解している国会議員は、国民の理解を形成する上でカギとなる役割を果たすことができます。

今回のプロジェクトの趣旨は、人口と開発に関する国会議員のネットワークを強化



し、国会議員が必要な情報や手段を入手することで、人口と開発分野のODA拡大および効果と効率の向上を実現す

高橋千秋議員
北谷勝彦NPO
2050理事長
マンモハン・
シャルマIAPPD
事務局長

ることです。現在、世界の各地域に人口と開発に関する議員連盟が設立され、アジア・アフリカ地域では、それぞれ人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）と人口と開発に関するアフリカ・アラブ議員フォーラム（FAAPPD）のもと、各国で人口と開発に関する国会議員の国内委員会が設立され、活動を行っています。

各国の国内委員会は超党派で構成されており、この委員会がODAのプロセスに関わることで、国民に対する説明責任（アカウンタビリティ）と透明性（トランスパレンシー）の向上といった成果が期待でき、また国民の代表である国会議員が積極的に関与することで、ODA受入国におけるグッド・ガバナンスを構築する一助となります。このように国会議員の役割を拡大することで、先進国の懸念を払拭するとともに、援助受入国の国民の生の声を先進国に反映させていくことができます。



このプロジェクトは3年間を通して、国会議員の人口・開発に関する国内委員会の積極的な関与のもと、ODAの問題点を洗い出し、説明責任と透明性を向上させるとともに、先進国の国会議員国内委員会との連携の中で、先進国・途上国ともに有権者に対してODAの有効

グエン・ヴァン・
ティエン議員

性を説明し、「国民による、国民のためのODA」を実現するための基盤を構築することを目的としています。初年に当たる今年度は、課題の洗い出しに焦点を当ててプログラムを実施しました。

池上清子
UNFPA
東京事務所長
ジェニスタ
ジョアキン・マ gamm
議員
カトリーナ・キッパ
国会事務局長
補佐

視察（7月7～8日）概要

7月7日午前は、衆議院議員会館の会議室で、清水嘉与子APDA副理事長による歓迎挨拶、さらに楠本修APDA事務局長・常務理事による事業の趣旨説明が行われ、事業意図についての積極的な意見交換が行われました。その後、議員会館の食堂で、森山真弓JPFPP副会長主催による歓迎昼食会を開催しました。昼食後は、福田康夫APDA理事長・JPFPP会長・AFPPD議長事務所の協力により、国会議事堂を視察し、日本の憲政の歴史に耳を傾けました。

午後には外務省を訪問し、山田彰・国際協力局参事官から日本のODAの歴史、成果とその理念、TICADIVやG8北海道洞爺湖サミットで公約した内容を果たすために最大限に努力していること等について詳細な説明を受けました。また、御法川信英政務官は、日本は人間の安全保障という側面からも人口問題や保健の問題を重視しているとの日本政府の方針を、議員としての立場から説明しました。

翌7月8日午前は、六本木ヒルズで苅田吉夫・森ビル株式会社特別顧問・APDA評議員の案内で、六本木ヒルズを訪問し、オフィス、住宅、商業施設、文化施設といった多様な機能が複合した東京再開発プロジェクトについて説明を受けました。



上田善久
JICA理事

午後には、広尾にある独立行政法人国際協力機構（JICA）地球ひろばを訪れ、JICAが活動している各国の料理を堪能した後、草野孝久所長より、JICAプログラムの概要、特に研修事業について詳細な説明を受けました。続いて、新宿のJICA本部に場所を移し、上田善久JICA理事・APDA理事から、JBICと合併し、総合的な援助機関となった新生JICAの活動について、包括的かつ詳細な説明を受けました。

会議（7月9～10日）概要

会議は、UNFPA東京事務所の協力のもと、国連大学で開催され、開会式には、森山真弓JPFPP副会長・元法務大臣、南野知恵子JPFPP事務総長・元法務大臣をはじめ、藤谷光信参議院議員、木寺昌人・外務省国際協力局長、植野篤志・同多国間協力課長、池上清子UNFPA東京事務所長などが参加しました。特に、日本の憲政史上、3名しか存在しな

い女性の法務大臣経験者のうち2名が参加し、プログラムの趣旨にふさわしい開会式となりました。

各セッションは参加議員が議長を務め、北谷勝秀NPO法人2050理事長、高橋一生・国連大学客員教授、牟田博光・日本評価学会副会長、木俣佳丈参議院議員、世界銀行専門家リソースパーソンを務めました。2日目には、参加議員による地域別グループディスカッションと全体討議が行われ、直面している問題の明確化とその対処が討議され、「直面する課題」および「提言と優先的課題」



木俣佳丈
議員

が採択されました。会議の終わりには、事務局が対話型ホームページへの参加や帰国してからの具体的な対処を参加者に呼び掛けました。閉会式では、南野知恵子JPFPP事務総長、広中和歌子APDA理事・JPFPP会長代行が挨拶を行い、来年に向けて再会を誓いました。

南野知恵子
議員

2010年に向けて

このプロジェクトはODAの進展に向けて、各国でODA関連立法を含めた具体的な対策をとることを目的としており、本年度の会議終了後に具体的にどのような活動が各国でなされたかが非常に重要になります。すでに、インドでは国会議員に対して、このプロジェクトのフォローアップ会合が開催され、元駐インド日本国大使を交え、活発な討論が行われました。カンボジアでも、本プロジェクトの報告書が人口と開発に関するカンボジア議員連盟（CAPPD）議長に提出され、他の議員と情報共有されたとの報告がありました。



広中和歌子
議員

また今回のプロジェクトに参加できなかった議員の便宜を図るために、可能な限りプログラムの資料をホームページ上に掲載し、ウェブ・フォーラムとして具体的な活動のために対話型のプラットフォームを構築します (<http://www.apda.jp>)。このホームページ上で、来年に向かって協議が継続されることが期待されます。参加ご希望の方はアジア人口・開発協会（APDA）までご連絡ください。（ご連絡先：apda@apda.jp）



直面している課題

1. 政府に対し:

一般的に政府はODAの計画、デザイン、実施、焦点、評価、ガバナンス、そして期待される成果について適切な情報を供与していない。特に、人口と開発に関するODAについて、各国政府はその総額、成果、実施過程、ODAのガバナンス、課題そしてそのODAの人口開発課題との統合について適切な情報を供与する必要がある。

2. 人口と開発に関する地域の議員フォーラムに対し:

- 2.1 国会議員が利用できるODAそのほかに関する集約された地域のデータベースが存在していない。
- 2.2 国によっては人口と開発に関する国会議員国内委員会が設立されていない。
- 2.3 国によっては国内委員会の対応能力が十分ではない。
- 2.4 途上国が直面しているニーズや課題についての情報を先進国と交換する一般的な仕組みが存在していない。

3. 受入国の国会に対し:

場合によっては、各国国会は、ODAの受け入れプロセスや付帯する条件について説明責任(アカウンタビリティ)と透明性(トランスパレンシー)を確保する枠組みを構築するための適切な行動および対策をとっていない。例えば、

- 3.1 人口と開発に関する国会議員国内委員会が存在しない場合がある。
- 3.2 人口と開発に関する国会議員国内委員会の事務局の調査・政策立案能力が十分でない場合がある。
- 3.3 ODA実施のために説明責任と透明性を確保するための立法が十分ではない。
- 3.4 国によっては人口・保健政策と立法が持続可能な開発と統合されていない。
- 3.5 国によっては人口と持続可能な開発の文脈と一貫した形での開発政策や関連立法が欠如している。
- 3.6 ODAの過程や進捗をモニターし、評価するための適切なメカニズムが存在していない。

4. 援助供与国の国会に対し:

- 4.1 国によってはODA供与プロセスを国内で十分に検討していない場合がある。
- 4.2 援助供与国と受入国の国会議員の間で、ODAに関する情報を交換する制度的枠組みが存在していない。
- 4.3 ODAをモニターし、評価するための適切なメカニズムが存在しない場合がある。
- 4.4 国会議員によっては、ODAの正当性を評価できるだけの適切な情報を得ていない。



左から: シフ・カレールAFPPD事務局長、ダーレン・アントニノ・コストディオ議員、マンモハン・シャルマIAPPD事務局長、ダムリー・オック議員、
グエン・ヴァン・ティエン議員、ピーター・D・マチュングワ議員、エルマ・ジェーン・ディエンダ議員、エリオダ・トムウェセゲ議員

提言と優先的課題

1. 政府への要請:

- 1.1 政府は国会議員に対してODAプログラムのすべての面における、適切かつ時宜を得た情報を供与すべきである。
- 1.2 人口と開発における各国国会議員委員会は政府に対してODA形成および要請の際に人口問題の優先順位を上げるよう政府に要請すべきである。

2. 人口と開発に関する地域の国会議員フォーラムへの要請:

- 2.1 地域の国会議員フォーラムの中でODA実施の優良事例を伝達し、共有するよう要請する。
- 2.2 人口と開発に関する国会議員委員会が存在しない国で国内委員会を設立するよう働きかける。
- 2.3 ODAの課題について地域の国会議員の間での交流を促進し、受益国と資金供与国の国会議員の連携を強化する。

3. ODA受入国の国会への要請:

- 3.1 ODAの説明責任を政府が果たすよう立法を行う。
- 3.2 ODAの進展をモニターし、評価する指標を検討する。
- 3.3 委員会がない国では、人口と開発に関する国会議員の国内委員会を設立し、政策形成のための十分な能力を供給する。
- 3.4 包括的な人口、保健、開発関連政策を再検討し、構築する。そして持続可能な開発の考え方に基づいて関連立法を行う。

4. ODA供与国の国会への要請:

- 4.1 国際開発に強い関心を持ち、ODAプロセスをモニターする。
- 4.2 ODA受入国のカウンターパートと協力することでODAプログラムをより効果的なものにする。
- 4.3 ODAの成果を適切に評価するための機構を設置する。



左から: 北谷勝彦NPO2050理事長、ゲン・ヴァン・ティエン議員、池上清子UNFPA東京事務所長、ダーレン・アントニ・コストディオ議員、楠本修APDA事務局長・常務理事、ダムリー・オック議員、森山真弓議員、フレデリック・オウタ議員、南野知恵子議員、ピーター・D・マチュングワ議員、ジェニスタ・ジョアキン・マガマ議員、マンモハン・シャルマIAPPD事務局長、高橋千秋議員、エルマ・ジェーン・ディエンダ議員、木寺昌人・外務省国際協力局長、エリオ・ダ・トム・ウエセ議員、藤谷光信議員、カトリーナ・キツパ国会事務局長補佐、牟田博光・東京工業大学理事・副学長、ハオ・モニラット 駐日カンボジア王国特命全権大使、植野篤志・外務省国際協力局多国間協力課課長



プログラム

7月7日(火)

10:00-11:45 開会式&イントロダクトリーセッション

- ・開会挨拶 清水嘉与子APDA副理事長
- ・趣旨説明 楠本修APDA事務局長・常務理事
- ・質疑応答・意見交換

11:45-13:00 昼食

13:30-14:30 国会見学

17:30-19:00 外務省表敬訪問

- ・御法川信英・外務大臣政務官表敬
- ・質疑応答・意見交換

7月8日(水)

10:30-11:30 東京再開発視察

- ・ 荻田吉夫APDA評議員・森ビル(株)特別顧問表敬

12:00-12:55 昼食

13:00-14:15 JICA地球ひろば

- ・ 市民参加協力事業に係る説明 草野孝久所長
- ・ 体験ゾーン見学

15:00-17:30 JICAとの協議

- ・ JICA事業概要ブリーフィング 上田善久JICA理事
- ・ 質疑応答・意見交換

7月9日(木)

09:30-10:00 開会式

- ・ 開会挨拶 南野知恵子JPFP事務総長
- ・ 挨拶 木寺昌人・外務省国際協力局長
- ・ 挨拶 池上清子UNFPA東京事務所長

10:15-11:30 セッション1: 国連とNGOの2つの

立場から—ODAの成果のために

- ・ 北谷勝秀NPO2050理事長・元UNFPA事務局次長
- ・ 議長: ダーレン・アントニノ・コストディオ議員(フィリピン)

11:30-13:00 セッション2: グッド・ガバナンスにおける

国会議員の役割

- ・ 高橋一生・国連大学客員教授
- ・ 議長: エリオダ・トムウェセゲ議員(ウガンダ)

13:00-14:00 ランチレセプション

14:00-15:30 セッション3: ドナー国および国際機関から

見たアカウントビリティ

- ・ 牟田博光・東京工業大学副学長・日本評価学会副会長
- ・ 議長: グェン・ヴァン・ティエン議員(ベトナム)

15:30-16:00 コーヒーブレイク

16:00-17:00 セッション4: 先進国から見たODA

- ・ 木保佳丈・参議院議員
- ・ 議長: ピーター・D・マチュングワ議員(ザンビア)

18:00-19:30 ディナーレセプション

7月10日(金)

09:30-10:30 セッション5: ODA受入国の現状と問題点I

- ・ アジア・アフリカ地域別グループディスカッション

10:30-11:45 セッション6: 世界銀行の人間開発分野の

課題と挑戦

- ・ ラケッシュ・ナンギア世界銀行人間開発ネットワーク(HDN)戦略・業務担当局長

- ・ アーミン・フェドラー世界銀行人間開発ネットワーク(HDN)保健政策・戦略担当主任アドバイザー
- ・ 議長: エルマ・ジェーン・ディエンダ議員(ナミビア)

11:50-13:00 ランチレセプション

13:00-14:00 セッション7: ODA受入国の現状と問題点II: グループディスカッション発表

- ・ フレデリック・オウタ議員(ケニア)
- ・ ダムリー・オック議員(カンボジア)

14:00-15:50 セッション8: 地域の取り組みと課題: 問題の洗い出し

- ・ 議長: ジェニスタ・ジョアキン・マガマ議員(タンザニア)

15:50-16:00 コーヒーブレイク

16:00-17:00 セッション9: 地域の取り組みと課題: 報告

- ・ 議長: フレデリック・オウタ議員(ケニア)

17:00-17:15 来年に向けたプロジェクト説明

17:15-17:30 閉会式

- ・ 挨拶 南野知恵子JPFP事務総長
- ・ 挨拶 広中和歌子APDA理事・JPFP会長代行

18:00-19:30 ディナーレセプション

略語リスト

AFPPD.....	人口と開発に関するアジア議員フォーラム (Asian Forum of Parliamentarians on Population and Development)
APDA.....	財団法人アジア人口・開発協会 (Asian Population and Development Association)
CAPPD.....	人口と開発に関するカンボジア国会議員連盟 (Cambodian Association of Parliamentarians on Population and Development)
DAC.....	開発援助委員会 (Development Assistance Committee)
FAAPPD ...	人口と開発に関するアフリカ・アラブ議員フォーラム (Forum of African and Arab Parliamentarians on Population and Development)
GNI.....	国民総所得 (Gross National Income)
IAPPD.....	人口と開発に関するインド国会議員連盟 (Indian Association of Parliamentarians on Population and Development)
JICA.....	独立行政法人国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency)
JPFP.....	国際人口問題議員懇談会 (Japan Parliamentarians Federation for Population)
MDGs.....	ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals)
MMR.....	妊産婦死亡率 (Maternal Mortality Ratio)
MOFA.....	外務省 (Ministry of Foreign Affairs)
ODA.....	政府開発援助 (Official Development Assistance)
TICAD.....	アフリカ開発会議 (Tokyo International Conference on African Development)
UNFPA.....	国連人口基金 (United Nations Population Fund)
UNU.....	国連大学 (United Nations University)
VAPPD.....	人口と開発に関するベトナム国会議員連盟 (Vietnamese Association of Parliamentarians on Population and Development)
ZAPPD.....	人口と開発に関するザンビア国会議員グループ (Zambia All Party Parliamentary Group on Population and Development)

2009年プロジェクト参加者リスト (敬称略・肩書きは当時)

アジア・アフリカ国会議員・事務局

ダムリー・オック 議員
(カンボジア)

ダーレン・アントニノ・コストディオ 議員
(フィリピン)

グエン・ヴァン・ティエン 議員・
VAPPD副議長(ベトナム)

フレデリック・オウタ 議員
(ケニア)

エルマ・ジェーン・ディエンダ 議員
(ナミビア)

ジェニスタ・ジョアキン・マガマ 議員・
国内地域開発委員会委員長
(タンザニア)

エリオダトムウェセゲ 議員・
FAAPPD財務担当(ウガンダ)

ピーター・D・マチュングワ 議員・
ZAPPD議長・FAAPPD役員
(ザンビア)

マンモハン・シャルマ IAPPD事務局長
(インド)

シフ・カレー AFPPD事務局長
(タイ)

カトリーナ・キッパ 国会事務局長補佐
(タンザニア)

広中和歌子 参議院議員・JPFP会長
代行(日本)

南野知恵子 参議院議員・JPFP事務
総長(日本)

森山眞弓 衆議院議員・JPFP副会長
(日本)

増子輝彦 参議院議員・JPFP幹事
(日本)

木俣佳丈 参議院議員・JPFP会員
(日本)

高橋千秋 参議院議員・JPFP副事務
総長(日本)

藤谷光信 参議院議員・JPFP会員
(日本)

リソースパーソン

牟田博光 東京工業大学理事・副学長・
日本評価学会副会長(日本)

高橋一生 国連大学客員教授
(日本)

日本国外務省(MOFA)

御法川信英 外務政務官

木寺昌人 国際協力局長

山田彰 国際協力局参事官

植野篤志 国際協力局多国間協力課
課長

中田昌宏 国際協力局多国間協力課
課長補佐

秋山ゆり子 国際協力局多国間協力課
外務事務官

木塚俊博 国際協力局多国間協力課
外交実務研究員

国連人口基金(UNFPA)

池上清子 東京事務所長
(日本)

山本美香 東京事務所職員
(日本)

国際協力機構(JICA)

上田善久 理事

草野孝久 地球ひろば所長

堀内好夫 地球ひろば次長

立原佳和 地球ひろば総務課課長

竹内智子 人間開発部保健行政・
母子保健グループ母子保健課課長

小畑永彦 秘書官

尾崎由博 理事長室

世界銀行

ラケッシュ・ナンギア HDN戦略・
業務担当局長(米国)

アーミン・フィドラー HDN保健政策・
戦略担当主任アドバイザー(米国)

谷口和繁 駐日特別代表
(日本)

大森功一 広報担当官
(日本)

加藤信子 HDN広報担当コンサルタント
(日本)

久木田いづみ 業務調整官
(日本)

大使館

ハオ・モニラット 駐日カンボジア王国
特命全権大使(日本)

ジナ・A・ジャモラリン 駐日フィリピン
共和国臨時代理大使(日本)

アンジェリカ・エスカロナ 駐日フィリピン
大使館政務担当書記官(日本)

協力団体・オブザーバー

西内正彦 NPO法人2050理事
(日本)

サイモン・ベデロ 慶應義塾大学講師
(日本)

ミランガ・ムワナタンブエ 徳洲会アフリカ
代表(日本)

新田淳一 ジェトロ・アジア経済研究所
研究支援部成果普及課課長(日本)

谷口裕 木俣佳丈参議院議員政策秘書
(日本)

アジア人口開発協会(APDA)理事・ 評議員

清水嘉与子 副理事長

荻田吉夫 評議員・森ビル(株)特別顧問・
元宮内庁式部官長

北谷勝秀 理事・NPO法人2050
理事長・元UNFPA事務局次長

櫻井新 理事

武田修三郎 理事

アジア人口開発協会(APDA) 事務局

楠本修 事務局長・常務理事

竹本将規 業務課長・研究員

恒川ひとみ 国際課長

ケイティ・ドンゼルマン 国際課職員

熊谷早織 会議サポーター

川上慶子 会議サポーター

森春菜 会議サポーター

通訳

原不二子

筒井伸子

蜷川章子



主催：
国際人口問題議員懇談会 (JPFP)
財団法人 アジア人口・開発協会 (APDA)

後援：
外務省 (MOFA)
国連人口基金 (UNFPA)

協力：
人口と開発に関するアジア議員フォーラム (AFPPD)
人口と開発に関するアフリカ・アラブ議員フォーラム (FAAPPD)
独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
NPO法人2050
国連大学 (UNU)
世界銀行